

事前資料 3

縁ノ場@山手(山手中学校区)



8/6(水) 13:30~15:30

市民センター401号

参加者67名(スタッフ含む)

縁ノ場@精道(精道中学校区)



8/18(月) 13:30~15:30

保健福祉センター 多目的ホール

参加者71名(スタッフ含む)

縁ノ場@潮見(潮見中学校区)



8/27(水) 13:30~15:30

潮芦屋管理センター 大会議室

参加者51名(スタッフ含む)

えん の ば 縁ノ場

～支援の前に、つながりを～



多様な住民主体の福祉活動団体等の活動者と、分野別相談支援機関や福祉施設等の従事者が、協働を意図した情報交換や意見交換を行うプラットフォーム。中学校を想定。

時間	内容
13:30～13:35	オリエンテーション
13:35～14:05	じっくり自己紹介♪
14:05～14:50	グループワーク① ～地図で見なおすうちの地域～ 「私の活動場所」、「うちの地域の福祉っぽいところ」を、地図に付箋をはろう(例:住民の集い場やたまり場、頼りになる人の家は?)
14:50～15:05	全体共有～他のグループの地図を見てみよう～
15:05～15:10	個人ワーク～本日の感想、次回への期待～
15:10～15:25	グループワーク②
15:25～15:30	閉会(中締め)
15:30～16:00	自由交流タイム

全3回のまとめ(地域支え合い推進員・事務局まとめ)

① 地域活動への関心と発見

- 「知らなかった活動を知れてよかった」「地域のことをもっと知りたい」「新しい発見があった」など、地域の多様な活動や資源への関心が高い。
- 地図や視覚的な情報が理解を深める手助けになっている。

② 交流の価値と喜び

- 「初めて会う人と話せてよかった」「顔が見える関係が嬉しい」「横のつながりができた」など、交流の場としての価値が強調されている。
- 多様な立場の人との対話が新鮮で有意義と感じられている。

③ 次回開催への期待

- 「季節の良い時期に」「半年後・年1回くらいがちょうどいい」「冬や春にまた集まりたい」など、継続的な開催を望む声が多い。
- 「参加者同士の活動発表」「活動の成果を共有したい」など、次回のテーマへの提案も多数。

④ 地域課題への気づき

- 「交通が不便」「買い物が困難」「福祉資源が偏っている」など、地域課題への気づきがある。
- 「防災」「子育て」「外出(移動)支援」など、具体的なテーマでの話し合いを希望する声も。

